

明治大学大学院経営学研究科 (経営労務プログラム) 募集のご案内

平成20年度より、明治大学大学院経営学研究科に経営労務プログラムが開設され、連合会より、同プログラムに社会保険労務士を推薦することとしております。

同プログラムへの推薦により、これまでに130名の社労士が明治大学大学院に入学し、修了した方にはMBA(経営学修士)が授与されています。

令和6年度入試におきましても、下記のとおり募集要項が定められましたので、ご案内いたします。

募集要項(要約)

1. 明治大学大学院経営学研究科(博士前期課程)概要

- (1) 大学院所在地
東京都千代田区神田駿河台1-1
・JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩3分
・東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩5分
- (2) 授業時間帯
原則、平日(月曜日～金曜日)夜間・土曜日
※平日昼間開講の講義も履修可能
- (3) 修了要件
①2年以上在学し、所定の研究指導を受けていること。
②必修10単位含む36単位以上修得していること。
③成績の平均がB(GPA2.00)以上であること。
④修士論文(又は課題研究レポート)の提出及び合格すること。
- (4) 学費等(初年度)

入学金	200,000円
授業料	560,000円
教育充実料	60,000円
その他	3,000円
合計	823,000円
- (5) その他
①明治大学大学院の募集要項は、明治大学大学院HPからダウンロードしてください。
https://www.meiji.ac.jp/dai_in/bosyuyoko-kakomon/yoko.html
②入学検定料 35,000円

2. 応募要件

以下の3つの要件すべてを満たす場合、応募することができます。

- (1) 社会保険労務士として登録していること。
- (2) 3年以上の人事労務管理に関する実務経験を有する者であること。
- (3) 明治大学大学院に入学する時点で、22歳以上であること。

3. 募集期間

令和5年7月18日(火)から令和5年9月4日(月)

4. 入試説明会

令和5年7月14日に実施した入試説明会の動画を連合会ホームページ会員ページにて配信いたします。入学を検討中の方はもちろん、これから検討したいという方もご視聴ください。

(1) 配信期間 (予定)

令和5年7月28日(金)～令和5年9月4日(月)

(2) 説明会内容 (予定)

- ①全国社会保険労務士会連合会からの挨拶
- ②明治大学大学院経営学研究科長からの挨拶
- ③経営労務プログラムの入試・カリキュラムについて
- ④人事労務系教員紹介・挨拶
- ⑤経営労務プログラムで学んだ経験について (修了生から)
- ⑥教育補助講師紹介・挨拶
- ⑦公開講義の案内
- ⑧グローバルフロントの案内

5. 提出書類

(1) 職務経歴書

- ①所定の様式を使用してください。
- ②所定の様式は、連合会ホームページの会員ページ お知らせ「令和6年度明治大学大学院経営学研究科 (経営労務プログラム) 募集及び入試説明会動画のご案内」よりダウンロードできます。
なお、A4版でプリントアウトし、提出してください。

(2) 課題レポート

- ①テーマ 下記1および2のいずれかから1つを選択してください。
 1. リスキリングに関する労務管理のあり方について、社会保険労務士の視点であなたの考えを述べてください。
 2. 仕事と育児・介護の両立支援に必要な企業の労務管理上の取り組みについて、社会保険労務士の視点であなたの考えを述べてください。
- ②文字数 : 3,000字程度 (2,700字～3,300字)
※句読点は文字数にカウントしてください。
※参考文献は必ず明記してください。なお、文末に参考文献を列記する場合、文字数のカウント外としてください (文末に文字数を明記してください)。
- ③提出形式 : パソコンで作成し、A4版・縦方向、横書でプリントアウトし、提出してください。
- ④その他 : レポートは、1行目に所属会及び氏名、2行目に選択したテーマ、その後1行あけて、4行目から本文を書き始めてください。

(3) 志望理由書 (令和6年度入試より追加)

- ①明治大学大学院経営学研究科において、研究したいテーマやそのテーマを選んだ理由を明確に示してください。
- ②文字数 : 500字以上1,000字以内
※句読点は文字数にカウントしてください。
※文末に文字数を明記してください。
- ③提出形式 : パソコンで作成し、A4版・縦方向、横書でプリントアウトし、提出してください。
※右上に氏名を記載してください。

6. 書類提出先

所属の都道府県社会保険労務士会

7. 提出方法

- (1) 所属の都道府県社会保険労務士会に持参
各都道府県社会保険労務士会の業務時間内に持参してください。
- (2) 所属の都道府県社会保険労務士会に郵送
特定記録郵便もしくは簡易書留扱いで郵送してください。
令和5年9月4日(月)必着です。

※提出書類に不備があった場合は受け付けられません。

8. 連合会における推薦者の決定

- (1) 都道府県社会保険労務士会会長の推薦に基づき、連合会に設置された推薦委員会において、提出書類を審査のうえ決定されます。
- (2) 推薦に関する結果は、連合会から直接応募者に通知します。
- (3) 推薦者の決定に関する照会には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

9. 出 願

- (1) 連合会において推薦が決定した場合、別途、明治大学大学院に出願していただくこととなります。
- (2) 明治大学大学院への出願期間は、令和5年11月26日(日)～令和5年12月1日(金)となります。

10. 明治大学大学院における合格者の決定

- (1) 面接試問が明治大学大学院において行われます。
- (2) 面接試問日は令和6年2月21日(水)、合格者の決定日は令和6年2月24日(土)です。詳細は明治大学大学院経営学研究科の募集要項をご確認ください。
- (3) 合格に関する通知は、明治大学大学院から直接合格者に行われます。

お問い合わせ先 全国社会保険労務士会連合会 社会保険労務士総合研究機構 TEL 03-6225-4870

よくある質問 (FAQ)



Q 仕事が忙しいため、2年間で単位を修得した上で、修士論文、または課題研究レポートを書きあげる自信がありません。必ず2年間で修了しなければいけないのでしょうか。



A 必ずしも2年間で修了する必要はありません。最大で4年間在籍可能です。過去のケースでは、入学当初から3年計画で入学された方もいらっしゃいました。ご自身の状況に応じて柔軟な学び方が可能です。

また、大学院入学前に「科目等履修生制度」を利用して、入学後の負担を減らす方もいらっしゃいます。当該制度については下記をご確認ください。

<科目等履修生制度について>

大学院で開設されている特定の科目を履修し、一定の単位を修得することが可能です(学士の学位を有する方のみ)。また、本制度で修得した単位は、大学院入学後に「単位認定申請」することにより、大学院修了に必要な単位として認定されます。



Q 大学を卒業してからかなりの年数が経過しているため、講義についていけないのか不安です。大学院の授業を体感できる方法などはありませんか。



A 上記「科目等履修生制度」の他、例年9月下旬～10月上旬に開催される公開講座に参加することにより、大学院入学前に授業の雰囲気等を体感し、不安を払拭した上でチャレンジされる方もいらっしゃいます。詳細につきましては、明治大学大学院経営学研究科までお問合せください。



Q 大学在学時、卒論を書いた経験がない方、卒論を書いてから年数が経過している方、あるいは、卒論を書いた経験はあるが経営学とは遠い分野である方をサポートしていただける制度はありますか。



A 本プログラムでは、研究活動をサポートするための**教育補助講師**（下記参照）が置かれ、自学・自習のための支援や論文執筆に関わる助言を行います。不安を払拭しながら研究に臨める体制が整えられています。

社労士院生の研究活動に対するサポート体制

—教育補助講師による研究支援体制—

【入試説明会における明治大学大学院経営学研究科資料より抜粋】

経営学研究科に入学した現役社労士は、2年間の研究活動を通じて修士論文または課題研究レポートをまとめて提出しなければなりません。実務志向の考え方を学術研究志向に転換させるのは、誰でも大変に辛いことです。経営労務プログラムは、修士論文を作成する過程において現役社労士が直面する困難を想定し社労士の研究活動をサポートするための教育補助講師体制を整えています。

1. 授業補助
2. 教材作成
3. 授業のフォローアップ

担当教員の指示に従って、授業のフォローアップを行います。このフォローアップとは、やむをえない事情で授業を欠席した院生に対し、教材を配布したり、授業の概要と要点について解説したり、また、必要な場合には、必読すべき文献を紹介します。

4. 学習への支援・指導

担当教員の指示に従って、院生個人の自学・自習に対する支援と指導を行います。この場合の“支援”とは、書誌の利用法、文献検索法、図書館活用法、研究に必要な文献収集、情報収集に関わるものを指しています。また、この場合の“指導”とは、修士論文執筆に必要な「執筆要領」に関わる助言、場合によっては、修士論文作成上の注意などを指しています。

〈 科目等履修生制度・教育補助講師等に
関する問い合わせ先 〉

明治大学大学院経営学研究科

東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL: 03-3296-4705

明治大学大学院経営学研究科

経営労務プログラム 担当教員のご紹介



山崎 憲
明治大学経営学部准教授

いっしょに人事労務管理とは何かを探求しましょう

研究テーマ：企業活動をめぐる社会・経済システム

担当科目：労務管理特論A・B（講義）

経営労務演習（演習）

プロフィール：右の二次元コード参照



早川 佐知子
明治大学経営学部准教授

大学院の勉強は思考のトレーニングになります

研究テーマ：アメリカの病院における人事労務管理

担当科目：人材育成特論、人的資源管理特論（講義）

企業内教育論演習（演習）

プロフィール：右の二次元コード参照



石塚 史樹
明治大学経営学部教授

大学院における学究の道

研究テーマ：特に独企業の人的資源管理・労使関係・企業統治に関わる実証研究

担当科目：労働経済特論、賃金管理特論（講義）

労使関係演習（演習）

プロフィール：右の二次元コード参照



月刊誌8月号に
担当教員と修了生の
メッセージを掲載予定です。

過去の担当教員の
メッセージはこちら



過去の修了生の
メッセージはこちら

